

木積の藤箕製作技術

県立中央博物館に常設展示コーナー

県立中央博物館の「自然と人間のかかわり」展示室に、木積の箕の紹介コーナーができました。

新設された展示コーナー



「身近な自然の利用」をテーマに、シノダケ、フジ、モウソウチクという身近な素材から手作業で作られる箕を材料や道具とともに展示し、製作工程を写真で紹介しています。

◆開館時間

9時～16時30分

◆入場料

一般：300円

高校・大学生：150円

※企画展開催中は別途設定・団体料金あり

◆休館日

毎週月曜日(月曜が休日の場合)

合は開館し、次の平日が休館
※年末年始は12月27日(月)から1月4日(火)まで休館
問 県立中央博物館(千葉市中
央区青葉町955-2)
☎043・265・3111

図書館だより



休館日…毎週月曜日、1日(土)
～4日(火)、11日(火)

◆人形劇を楽しむ会

市内のボランティアグループ「おはなしやさん」による人形劇。大人もお子さんと一緒に楽しめます。

日時…1月29日(土)14時～15時
会場…八日市場公民館3階 会議室
内容…人形劇『3びきのくま』ほか
参加費…無料

◆通常の「おはなし会」 (八日市場図書館)

8日、15日、22日、29日(土)
15時から約30分間
<http://www.library.sosa.chiba.jp>
問 八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

抽選会を開催します

そうさ歳末 ジャンボ宝くじ

◆抽選日

1月9日(日)14時

◆会場

市民ふれあいセンター

※当日ご来場の先着5000人に、1万円お買上相当のポイント、またはチップを無料進呈します。ユートリーカードをご持参ください。また、当日来場者にも1万円分の匝差共通商品券(25本)などが当たる抽選を行います。

◆景品引き換え期間

1月14日(金)～18日(火)

◆引き換え時間

9時～17時

◆引き換え場所

市商工会館本所(八日市場公民館となり)

◆景品内容

【特等】匝差共通商品券30万円分

【1等】同商品券10万円分

【2等】同商品券1万円分

【3等】同商品券3千円分

【4等】同商品券千円分

【5等】実用商品、またはユートリーカードポイント

問 市商工会 ☎72・2528

文芸コーナー

短歌

土屋 耕一 推薦

新しき鍋買い厨に光れるを見れば少しく心明るむ

八日市場ハ 太田 玲子

実の成らぬ黄に咲き盛る山吹は秋の陽あびて風にゆらめく

八日市場イ 大川 八重

バス路線変動多く老いの足少なくなりて家人に頼る

椿 日色 和江

秋霖に濡れし紫蘇の実指に扱く穂の先白く花の残るを

八日市場イ 中川いね子

国体の弓道競技テレビにて納射務める息子を見た

大浦 椎名かね子

四百年の大杉透きて届く光檀林参道に淡くゆらめく

飯倉台 多部田佐智子

りんどうの押花に添ゆ異国より届きし便りくりかえし読む

山桑 佐藤 泰子

名を呼ばれ目の覚めたれば夢とぎれ点滴の管わが命継ぐ

安久山 木下 昌子

川口 城司 推薦

夕つ日は寺の森へと吸ひ込まれ尖れる月のあと追ふ如し

野手 大木 政子

野の道と里と二つの散歩コース犬は先立ち遠回りを選ぶ

栢田 渡辺 重雄

凜乎たる遺影に捧ぐ追悼詩われらが吟を聞き給へかし

栢田 小川 知至

御影石に雨水掛かりて現るる姿は富士よをろがみ申す

今泉 小川みさ子

俳句

西野 棠雨 推薦

午後の日陰り易さや枯木山 上谷中 八木佐久司

古代の匝瑳

匝瑳探訪

— 56 —

匝瑳市が誕生して5年目になります。郡名から市の名となった「匝瑳」という地名は1270年前から使われていますが、その語源や由来について、すっきりと解明されているとは言えないかもしれません。

これまで千葉県は「総の国」と呼ばれ、従来から麻を栽培して成功した肥沃な地に付いた国の名ともいわれてきました。

平成13年刊行の『千葉県の歴史古代編』には、奈良県・藤原宮(694〜710年の都)の跡から後の「上総国」のことを「上埴国」と書かれた記録が発見され、「埴の国」の表記のほうがふさわしいと記載され、「埴の国」が分割され、上埴国、下埴国となったのは683〜685年ころという見方が示されました。

「匝瑳郡」については、1921(大正10)年に刊行された『匝瑳郡誌』の、「美麻の生ずる所、これを狭布佐郡と名づく」との記載が引用され「サフサ」「そうさ」などの呼び名が使われてきました。

物部小事が坂東に出征して、勲功をあげ、郡の分割にかかわり匝瑳郡を建てたとされ、その時代は東国諸国での郡の分割・再編の時期・649年ころのこと、との研究が報告

匝瑳の海岸をオレンジ色に染める初日の出(吉崎浜)



されています。

この時同郡は十八郷からなる大郡とされ、「ソウサ」の地名も「埴の国」の分割の影響があつて付けられたと考えたこともなります。

市内在住の方から『古代の「匝瑳」と地名のおこり』と題する小冊子が届きました。『匝瑳郡誌』の記載内容の検討から始まり最近の資料を使って昭和50代刊行の『八日市場市史 上巻』の記述を補う内容のものといえます。

それによると「狭布佐郡」の表記は、明治の『日本地理志料』が初めて、「匝瑳郡誌」はそれを引用したとのこと。江戸時代出版された地名の記録に「ソウサ」と振り仮名したものではなく、「逆瑳」と書かれたとあります。

平木遺跡(市内の特別支援学校所在地)からは、東北地方との海上交通を裏付ける出土物も発見され、物部匝瑳氏が国家の東北地方の征夷事業に関与した800年代前半の様子も知られつつあります。今後の調査により、「匝瑳」の語源や由来が明らかになることを新年にあたり期待することにしませう。

八日市場図書館 ☎73・3746

千し大根くぐりて人の訪ね来し 八日市場二 中川 正子
水鳥やただようてる昼の月 八日市場八 大川 宣子
枯蔦や坂の途中の変電所 春海 浜野 隆志
庭樺枯木となりて星宿す 横須賀 岩井 やす
ことごとく枯れの中なり捨て小舟 飯 高 安藤 建子
一霜を浴びたる味の野菜かな 蕪里 山崎 伸
木枯しに背を向けて待つ電車かな 上谷中 太田三樹夫

川口 城司 推薦

岩風呂に柚子遊ばせて冬至かな 野手 山口 静堂
日標は杖なし歩行冬帽子 栢田 伊藤 定子
暖冬の寂しさ庭に小鳥来ず 川 辺 大木 竹子

川柳

高梨 果宝 推薦

人生はあつと言う間の玉手箱 長谷 石毛惣一郎
東の間に消える論吉の物価高 大浦 江波戸清江
東の間の出会い再びかわ過ぎ 飯塚 鈴木ツネ子
東の間の居眠りでした大惨事 八日市場イ 常世田やす子
農作業つるべ落としの老いを知り 飯高 林 サダ子
東の間も会話途切れぬクラス会 八日市場イ 森 あつし
赤ちゃんの泣き方で知る腹具合 八日市場イ 伊藤さとこ
朝露の如しと人の八十路坂 八日市場イ 鈴木十世志

川口 城司 推薦

初春に胸ふくらませ夢たくす 川 辺 及川 利道

八日市場図書館

あて先：匝瑳市秘書課広報広聴班
〒289-2198
匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎73・0080 FAX72・1114